

市町村合併 情報コーナー



合併のメリット デメリット

ここでは、国や県が示した一般的な事項のうち、デメリットについて紹介します。

デメリット

中心部だけ発展し、周辺部はさびれてしまう

合併後の市町村の中心部だけが発展して、周辺部がさびれる傾向があることは、しばしば指摘されています。これは合併時に作成された「市町村建設計画」に、少数派である周辺部の住民の意見が把握・反映されにくいことが原因です。旧市町村の区域毎に、地域審議会を設置することが可能ですが、周辺部への配慮や、地域間のバランスチェックを常に怠らないことが大切です。

役場が遠くなって、今までよりも不便になる

合併後、それまでの町村役場は、新市町村の支所や出張所として使用される場合がありますが、建物の老朽化や新しい公共施設計画、職員削減のため、継続は難しい場合もあります。また、小・中学校区の見直しや類似した公共施設が隣接している場合には、統廃合により学校や施設がなくなる場合も考えられます。

住民の声が届きにくくなり、きめ細かなサービスが行われなくなる

合併により、一般的に議員の数は減少し、全体的には職員数も次第に削減されるため、住民の意向を把握し、反映するための工夫は合併前よりもさらに強く求められることとなります。また、人口の多い市町村ほど、選挙への関心が低くなり、投票率も低下する傾向があります。

福祉などのサービス水準が低下したり、公共料金などが高くなる

合併前の市町村間で異なる住民サービスの水準や使用料、手数料を平準化、統一することとなりますが、一般的にはサービス水準は高い方に、負担は低い方に調整される例が多いといわれています。しかし、その結果、全体的には財

政への負担は増加するため、長期的にはサービスの低下か、税や公共料金の値上げの選択を求められる心配があります。

地域ごとの歴史、文化、伝統などが失われる

知名度の高い市町村名やイメージが失われることがあります。また、伝統ある行事を従来どおり開催することは難しくなります。

財政状況に差がある市町村の場合は、財政状況の良い市町村に不利になる

合併の形式が新設合併を目指す場合、財政状況に大きな差があれば、対等な立場での協議は難しくなります。



役場庁舎

企画課

内線 340

水難事故防止にご協力ください

水の事故を防止するため、特に次の点に注意してください。

子どもを水の事故から守るために

- ・ 幼児の事故は、保護者が目を離したすきに起きています。幼児と一緒にいるときは、その動きに気をつけ目を離さないようにしましょう。プールであっても保護者は目を離さないように注意しましょう。
- ・ 保護者のかたは、日ごろから「水の怖さ」を子どもに教え、危険な場所へ行かないように注意しましょう。子どもが出掛けるときは、「川や池には近づかないよう」具体的に注意してあげましょう。
- ・ 下校途中に池や川、用水などで水遊びをさせないように注意しましょう。

大人に対する注意事項

- ・ 河川や湖沼での遊泳はやめましょう。
- ・ カヌーや水上オートバイ等の水上スポーツは十分な装備で、周囲の安全を確認しながら行い、ルールやマナーを守りましょう。
- ・ 魚釣り・キャンプ・バーベキ

- ・ ユー等を行う場合は、ダム放流の警報を確認する等、急な増水に注意しましょう。大雨の後は、予想を超えた増水となる場合がありますので近づかないように注意しましょう。
- ・ 雨の多い時期は、上流地域の気象情報にも注意してください。
- ・ 子どもは、遊びに夢中になると衝動的な動きをします。川や池等の近くで、子どもだけで遊んでいたら自分の子どもでなくとも一声かけて注意しましょう。
- ・ 高齢になると若いときと同じ動作ができません。無理をしないでください。



館林警察署 ☎70110